

日本写真測量学会平成20年度秋季学術講演会 プログラム

開催日時：

平成20年11月27日（木） 10時00分～17時30分
 13時00分～14時00分 特別講演会演題「電磁波計測一地雷探査から多偏波SARまで」・「IGARSS2011仙台の招聘と準備」
 14時10分～15時50分 ベンダーフォーラム
 18時00分～ 懇親会会場：「東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール」
 11月 28日（金） 9時30分～17時10分
 11月 29日（土） 9時30分～ 巡検：青葉山地区の自然と研究活動（徒歩で行動） 9:30(集合) 東北大学東北アジア研究センター, 10:30東北大植物園, 12:00青葉城跡, 14:00仙台市博物館, 16:00博物館にて解散

学会参加費（論文集代含む）：会員 5,000円, 非会員 7,000円, 学生3,500円（会員・非会員共）
 特別講演会演題「電磁波計測一地雷探査から多偏波SARまで」・「IGARSS2011仙台の招聘と準備」：佐藤源之教授, 東北大学東北アジア研究センター
 ベンダーフォーラム
 懇親会会場：「東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール」

開催場所：

東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール
 〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平1-1
 HP：http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/access/sakura-j.html

第1日目 11月27日（木）

10:00-10:15

開会のあいさつ

会長 村井 俊治

A会場		司会：石塚直樹（農環研）
セッションA	リモートセンシング（雪氷・農業）	SSM/Iデータを用いた北半球の海水分布の時系列変動に関する研究
10:15-10:30	A-1	○西浦弘記・長 幸平（東海大）・その他2名
10:30-10:45	A-2	時系列地上積雪観測画像による融雪特性の把握に関する研究
10:45-11:00	A-3	○安田俊夫・力丸 厚（長岡技術大）・その他2名
11:00-11:15	A-4	可視・赤外線画像情報を用いた積雪の含水率分布把握に関する基礎研究
11:15-11:30	A-5	○坂田健太・力丸 厚（長岡技術大）・他4名
		ハイパースペクトルデータを用いた牧草品質モニタ - マメ科率の推定
		○葛岡成樹(株)イメージワン)・森山雅雄(長崎大)・その他3名
		ハイパースペクトルデータを用いた牧草品質モニタ - 大気補正手法の検討
		○森山雅雄(長崎大)・葛岡成樹((株)イメージワン)・その他3名

11:30-13:00

屋食

13:00-14:00	特別講演会	司会：斉藤元也（東北大）
		題名：「電磁波計測一地雷探査から多偏波SARまで」・「IGARSS2011仙台の招聘と準備」
		講演者：佐藤 源之 教授, 東北大学東北アジア研究センター

14:00-14:10

休憩

14:10-15:50	ベンダーフォーラム	司会：武田浩志（国際航業(株)）
		出展社名(予定)：デベロソリューションズ(株), BISOWORKS(株), ESRIジャパン(株), インフォサーブ(株), リーグルジャパン(株), (株)パスコ, ジュー・データシステムズ(株), 国際航業(株), (順不同)

15:50-16:00

休憩

セッションB	リモートセンシング(分類)	司会：大吉 慶（京大）
16:00-16:15	B-1	熱帯多雨域を対象とした光学センサデータによる土地利用の判別
16:15-16:30	B-2	○内田 諭(JIRCAS) インドネシア・スマトラ島におけるオブジェクト分類を使った半自動土地利用分類の試み
16:30-16:45	B-3	○平野 聡(JIRCAS)・Hervanto BAMBANG（インドネシア農業土地資源研究開発センター） WorldView-1による地理情報の取得
16:45-17:00	B-4	○瀬谷 創・橋 菊生((株)パスコ) 衛星画像から自動車を検出するツールの開発
17:00-17:15	B-5	○茂出木敏雄(大日本印刷(株)) ハイパースペクトルデータとレーザーデータを活用した地物分類について
17:15-17:30	B-6	○中野一也・世古口竜一(朝日航洋(株))・その他3名 鳥類の生息環境を主とした農地の土地利用分類
		○小川茂男・天野達也(農工研)・その他2名

18:00-20:00

懇親会会場：「東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール」
 会費：5,000円

B会場		司会：垣内 力（朝日航洋(株)）
セッションC	近接写真測量(その1)	橋の三次元計測におけるマッチングについて
10:15-10:30	C-1	○瀬戸康太・森山雅雄(長崎大)
10:30-10:45	C-2	デジタルカメラを用いた出島橋の三次元計測におけるマッチングについて
10:45-11:00	C-3	○瀬戸康太・森山雅雄(長崎大)
11:00-11:15	C-4	大型プラント建設における壁面設置物位置計測手法の合理化
11:15-11:30	C-5	○横山 大・山本 祐一((株)日立プラントテクノロジ)・その他2名 デジカメ画像による顔面形状モデリング 栗原三郎(松本歯科大)・○柴田健一(シービーエス(株))・その他1名 動画像による歩行景観の3次元解析 ○國井洋一(東京農大)

セッションD	レーザー計測	司会：中野一也（朝日航洋(株)）
16:00-16:15	D-1	航空レーザーギヤナデータを用いた三次元都市モデル生成システムの開発
16:15-16:30	D-2	○其阿彌大祐・内田 修(アジア航測(株)) 伝統的建造物群保存地区における地上LiDARデータの標定精度の評価
16:30-16:45	D-3	○幸良淳志・須崎純一(京大)・その他1名 マルチパルスをを用いた森林域の地表面抽出に関する研究
16:45-17:00	D-4	○垣内 力(朝日航洋(株))・近津博文(東京電機大) LiDARデータを用いたスギ密林・ヒノキ林の単木抽出
17:00-17:15	D-5	○大野勝正・沼田洋一(アジア航測(株))・その他1名 航空レーザーデータに基づく植林地の林分材積推定
17:15-17:30	D-6	○今井靖晃・船橋 亨(国際航業(株))・その他2名 LiDARによる森林の耐風性評価のための手法開発 ○遠藤貴宏・田口 仁(東京大)・その他1名

A会場	
セッションE	リモートセンシング(農業) 司会：山下 恵 (近畿測専)
9:30-9:45 E-1	衛星画像を用いた水田転作の把握と水質への影響評価 ○石塚直樹・芝山道郎(農環研)・その他3名
9:45-10:00 E-2	水稻のNDVI算出における土壌の影響評価 ○三浦裕幸・丹波澄雄(弘前大)
10:00-10:15 E-3	四成分分解手法を用いた水田のイネと土壌が与えるマイクロ波散乱の解析 ○須崎純一・田村正行(京都大)
10:15-10:30 E-4	放牧草地のモニタリング-GPSとGISの利用— ○鈴木公人・嶋 栄吉(北里大)・その他4名

10:30-10:40

休憩

ALOS	
セッションF	ALOS 司会：今井靖晃 (国際航業(株))
10:40-10:55 F-1	PALSARを用いたSAR干渉DEMの標高精度評価およびオルソ画像の幾何精度評価 ○磯野賀瑞夫・野口英行 (RESTEC)・その他3名
10:55-11:10 F-2	ALOS PALSAR によって観測された2008年岩手・宮城内陸地震による土砂災害 ○米澤千夏・加藤 徹(宮城大)・その他2名
11:10-11:25 F-3	ポインティング角の異なるALOS/AVNIR-2画像のオルソ化について ○中澤明寛・御園 隆 (アジア航測(株))・その他2名
11:25-11:40 F-4	「だいち」の光学センサーの幾何的な精度の評価 ○飯倉善和(弘前大)
11:40-11:55 F-5	ALOS/PRIISM 画像の判読・図化について(バングラデシュ国を対象として) ○高橋佳昭・平松孝晋(RESTEC)
11:55-12:10 F-6	ALOS/PRIISMによるDSMの高さ精度の特性 ○加藤宏康・石塚淑大(株)パスコ)・その他1名

12:10-13:30

昼食

熱環境	
セッションG	リモートセンシング(熱環境) 司会：須崎純一 (京都市)
13:30-13:45 G-1	地上観測データに基づく地表熱ア多米タンス推定法 ○谷川 聡・森山雅雄(長崎大)・その他3名
13:45-14:00 G-2	気温データと地表面放射温度の関係 ○越智士郎・中野正和(近畿大)
14:00-14:15 G-3	極動向衛星向け地表面熱特性推定手法の提案 ○森山雅雄・谷川 聡(長崎大)・その他4名
14:15-14:30 G-4	SLI向け森林火災温度、火災面積推定アルゴリズムの確立の為の基礎検討 ○三浦高史・森山雅雄(長崎大)

14:30-14:40

休憩

植生・森林	
セッションH	リモートセンシング(植生・森林) 司会：神谷 泉 (国土地理院)
14:40-14:55 H-1	LED光源で計測した緑葉反射率による樹木水分ストレスの推定 ○兵頭竜二(長崎県工業技術センター)
14:55-15:10 H-2	植生の水ストレス傾向を検出するための手法開発 IV ○小野朗子(JAXA/EORC)・梶原康司(千葉大)・その他1名
15:10-15:25 H-3	リモートセンシングデータ等による樹高(林分高)推計に関する検討 ○宗像和規・野中崇志(株)パスコ)・その他3名
15:25-15:40 H-4	森林域の三次元構造を考慮した多方向観測のシミュレーションの開発 ○小野祐作・梶原康司(千葉大)・その他1名

15:40-15:50

休憩

時系列解析	
セッションI	リモートセンシング(時系列解析) 司会：赤塚 慎 (東京大)
15:50-16:05 I-1	衛星データからの周期パターン領域の抽出 ○井上洋平・丹波澄雄(弘前大)
16:05-16:20 I-2	NOAA/AVHRRの経年変化補正に起因するNDVIの差異の特徴 ○丹波澄雄・福田圭介(弘前大)
16:20-16:35 I-3	時系列晴天画像作成法について ○朴 鍾杰・安田嘉純(東京情報大)
16:35-16:50 I-4	MtSATデータを用いた陸域パラメータ観測手法の検討 ○大古 慶(京都大)・竹内 渉(東京大)

17:00-17:10

閉会のあいさつ

B会場	
セッションJ	近接写真測量(その2) 司会：長井正彦 (東京大)
9:30-9:45 J-1	デジタル写真測量からみたカメラ付き携帯電話の精度検証 ○高橋洋二・近津博文(東京電機大)
9:45-10:00 J-2	デジタル写真測量からみたマクロレンズの精度検証 ○柳 秀治(社)日本測量協会)・近津博文(東京電機大)
10:00-10:15 J-3	民生用デジタルカメラにおけるスケールファクタの影響について ○中野一也(朝日航洋(株))・近津博文(東京電機大)
10:15-10:30 J-4	多視点画像からのモデル統合に関する基礎的研究 ○本間雄一・近津博文(東京電機大)

防災・災害	
セッションK	防災・災害 司会：越智士郎 (近畿大)
10:40-10:55 K-1	岩手・宮城内陸地震前後の地殻変動と土砂災害 ○荒木春規(環境地質研)・村井俊治(社)日本測量協会)
10:55-11:10 K-2	岩手県沿岸北部地震前1.5年間の座標日変動 ○荒木春規(環境地質研)・村井俊治(社)日本測量協会)
11:10-11:25 K-3	災害時緊急情報配信システムの検討 ○横山太一・森 宣彦(大阪工大)
11:25-11:40 K-4	仙台市における住民の年齢構成を考慮した避難場所の利用方法の提案 ○本庄和志・米澤千夏(宮城大)・その他3名
11:40-11:55 K-5	GoogleMapを用いた災害時避難支援マップと三次元都市モデルの融合 ○渡辺陽介・徳永光晴(金工大)
11:55-12:10 K-6	南米ボトン銀山開発による水銀汚染の推定 ○小川 進・岡田尚樹(東京大)・その他1名

教育・標準化	
セッションL	教育・標準化 司会：井上 亮 (東京大)
13:30-13:45 L-1	小中学生による衛星画像判読実験 ○上林徳久・白石貴子(RESTEC)
13:45-14:00 L-2	国際的な移転・流通性に着目した衛星データ処理トレーニングパッケージの開発 ○赤塚 慎・竹内 渉(東京大)・その他2名
14:00-14:15 L-3	高度空間情報社会実現のための基盤地図情報の更新方法の検討 ○守屋三登志・鹿田正昭(金工大)・その他1名
14:15-14:30 L-4	地理情報標準における論理一貫性の検定プログラムの開発(2) ○平田更一(社)日本測量協会)・柳田 聡(株)エヌ・シー・エム)

写真測量・画像計測	
セッションM	写真測量・画像計測 司会：坂元光輝 (アジア航測(株))
14:40-14:55 M-1	斜め撮影による航空写真の新たな利用方法の検討 ○藤巻重則・本間亮平(アジア航測(株))・その他1名
14:55-15:10 M-2	異なるサイドラップ撮影によるDSMの評価 ○大坪和幸・岩松俊男(株)パスコ)・その他3名
15:10-15:25 M-3	多時期の空間データを用いた盛土把握手法の検討 ○富田進太郎・小田三千夫(国際航業(株))・その他2名
15:25-15:40 M-4	二時期の空中写真を用いた新規建築物の自動外周線発生を試み ○笹川 啓・渡部金一郎(国土地理院)・その他2名

測位・応用	
セッションN	測位・応用 司会：國井洋一 (東京農大)
15:50-16:05 N-1	UAV搭載型マルチCCDカメラによる河川環境モニタリングに関する研究 ○長井正彦・Afzal Ahmed(東京大)・その他2名
16:05-16:20 N-2	GPS/IMUとデジタルセンサを用いた路面形状計測 ○佐田達典(日本大)・村山盛行(テクノハンガード(株))・その他4名
16:20-16:35 N-3	GPSとICタグを用いた測位の調整方法 ○神谷 泉(国土地理院)
16:35-16:50 N-4	最小2乗法における重みの自動調整 ○神谷 泉(国土地理院)

副会長 下田陽久